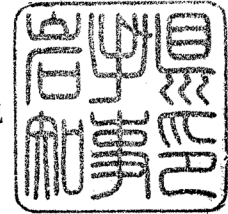


水振第74号
令和6年4月11日

岩手海区漁業調整委員会
会長 大井 誠治 様

岩手県知事 達増 拓也



知事許可漁業の制限措置等について（諮問）

岩手県漁業調整規則（令和2年岩手県規則第66号）第4条第1項第1号、第2号及び第8号に掲げる知事許可漁業について、漁業法（昭和24年法律第267号）第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び同規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置を次のとおり定めたいので、同法第58条において読み替えて準用する同法第42条第3項の規定により、貴委員会の意見を求めます。



担当 農林水産部水産振興課
漁業調整担当（高梨）
電話：019-629-5819
FAX：019-629-5824
E-mail：airi-n@pref.iwate.jp

あわび漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項第1号に掲げる次のあわび漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和6年 月 日

岩手県

1 あわび漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき漁業者の数その他の制限措置

	漁業種類		操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき漁業者の数
	水産動植物の種類	漁具の種類その他の漁業の方法						
繁殖期あわび漁業	あわび	潜水器等	第一種共同漁業権の漁業者から同意を得た海域	7月1日から10月31日まで	-	-	宮古市に住所を有し、第一種共同漁業権の漁業者又は当該漁業者から操業の同意を得ている者	2
							陸前高田市に住所を有し、第一種共同漁業権の漁業者又は当該漁業者から操業の同意を得ている者	1

(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和6年5月20日から令和6年6月21日まで

(3) 備考

ア この許可の有効期間は、許可の日から令和6年10月31日までとする。

イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) あわび種苗生産以外の目的で採捕してはならない。

(イ) ……(漁獲予定数量)を超えてあわびを採捕してはならない。

(ウ) 網漁具(たも網を除く。)を使用して採捕してはならない。

(エ) 日没から日の出までの間は、潜水器及び簡易潜水器による操業をしてはならない。

- (オ) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合には、これに従わなければならない。
- ウ 許可又は起業の認可を申請しようとする者は、別に定める書類を、その住所を所管する当該水産振興センターの長に提出するものとする。
- エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した漁業者の数を超える場合においては、岩手海区漁業調整委員会の意見を聴いた上で、許可の基準を定め、これに従って許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。

あわび漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項第1号に掲げる次のあわび漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和6年 月 日

岩手県

1 あわび漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき漁業者の数その他の制限措置

漁業種類			操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき漁業者の数	
	水産動物の種類	漁具の種類その他の漁業の方法							
4	繁殖期あわび漁業	あわび	潜水器等	第一種共同漁業権の漁業権者から同意を得た海域	7月1日から10月31日まで	—	—	岩手県内に住所を有し、第一種共同漁業権の漁業権者又は当該漁業権者から操業の同意を得ている者	1

(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和6年7月22日から令和6年8月23日まで

(3) 備考

ア この許可の有効期間は、許可の日から令和6年10月31日までとする。

イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) あわび種苗生産以外の目的で採捕してはならない。

(イ) ……(漁獲予定数量)を超えてあわびを採捕してはならない。

(ウ) 網漁具(たも網を除く。)を使用して採捕してはならない。

(エ) 日没から日の出までの間は、潜水器及び簡易潜水器による操業をしてはならない。

(オ) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合には、これに従わなければならない。

ウ 許可又は起業の認可を申請しようとする者は、別に定める書類を、その住所を所管する当該広域振興局水産部又は水産振興センターの長に提出するものとする。

エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した漁業者の数を超える場合においては、岩手海区漁業調整委員会の意見を聴いた上で、許可の基準を定め、これに従って許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。

なまこ漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項第2号に掲げる次のなまこ漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和6年 月 日

岩手県

1 なまこ漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき漁業者の数その他の制限措置

	漁業種類		操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき漁業者の数
	水産動植物の種類	漁具の種類その他の漁業の方法						
繁殖期なまこ漁業	なまこ	潜水器等	第一種共同漁業権の漁業権者から同意を得た海域	6月1日から7月31日まで	—	—	宮古市に住所を有し、第一種共同漁業権の漁業権者又は当該漁業権者から操業の同意を得ている者	2

(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和6年5月1日から令和6年5月31日まで

(3) 備考

ア この許可の有効期間は、許可の日から令和6年7月31日とする。

イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) なまこ種苗生産以外の目的で採捕してはならない。

(イ) ……(漁獲予定数量)を超えてなまこを採捕してはならない。

(ウ) 網漁具(たも網を除く。)を使用して採捕してはならない。

(エ) 日没から日の出までの間は、潜水器及び簡易潜水器による操業をしてはならない。

(オ) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合には、これに従わなければならない。

ウ 許可又は起業の認可を申請しようとする者は、別に定める書類を、その住所を所管する当該水産振興センターの長に提出するものとする。

エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した漁業者の数を超える場合においては、岩手海区漁業調整委員会の意見を聴いた上で、許可の基準を定め、これに従って許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。

さんま棒受網漁業の制限措置等について

岩手県漁業調整規則第4条第1項第8号に掲げる次のさんま棒受網漁業について、漁業法第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項及び岩手県漁業調整規則第11条第1項に掲げる事項に関する制限措置等を次のとおり定める。

令和6年 月 日

岩手県

1 さんま棒受網漁業

(1) 許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置

	漁業種類		操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	漁業者の資格	許可または起業の認可をすべき船舶等の数
	水産動植物の種類	漁具の種類その他の漁業の方法						
さんま棒受網漁業	さんま	棒受網	岩手県沖合海面	7月22日から12月31日まで	制限なし	10トン未満	岩手県内に住所を有する者のうち、大船渡市に漁業根拠地を有するもの	1

(2) 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和6年4月26日から令和6年5月27日まで

(3) 備考

ア この許可の有効期間は、令和6年6月1日（令和6年6月2日以降の場合は許可の日）から、令和9年5月31日までとする。

イ この許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付けることがある。

(ア) 資源の保護又は漁業調整のため、知事が操業の停止若しくは一部を制限する指示をした場合は、これに従わなければならない。

ウ 許可又は起業の認可を申請しようとする者は、別に定める書類をその住所を所管する当該広域振興局水産部又は水産振興センターの長その他の場合は水産振興課総括課長に提出するものとする。

エ 許可又は起業の認可の申請の数が公示した漁業者の数を超える場合においては、岩手海区漁業調整委員会の意見を聴いた上で、許可の基準を定め、これに従って許可又は起業の認可をする者を定めるものとする。